

大島支庁情報誌

(平成27年9月16日発行 第48号)



喜界島サンゴ礁科学研究所の開所式が行われました

大島支庁喜界事務所長 原島 秀勝

平成27年8月22日(土)、国内外の研究者や地元住民など約100人が出席し、喜界島サンゴ礁科学研究所(旧早町小学校跡地)の開所式が行われました。

同研究所は、北海道大学が、国際的にも希少な隆起サンゴ礁で形成された喜界島を拠点として、海洋・地質及びそれに関わる生物に関する調査・研究を行い、自然科学の発展と普及に貢献することを目的に設立したもので、平成26年12月に、喜界町



開所式の様子

と北海道大学の間で校舎の無償貸付契約が締結され、その後、展示物や加工機器などの機材の搬入など準備が進められていました。

オープニングセレモニーでは、山崎所長(日本学術振興会特別研究員)と渡邊理事長(北海道大学大学院理学研究院講師)が、それぞれあいさつし、「無事に開所式を迎えられ、喜界島の皆さんに感謝している。世界のサンゴ礁研究をリードしていきたい。」「喜界島は世界の中でも類いまれなる場所であり、研究を通じて世界に伝えたい。」と、研究所開設の意義と抱負が示されました。

その後、オープニングセレモニーに先駆け、19日から、同研究所が島内外の小中学生に呼びかけて実施した「サンゴ礁サイエンスキャンプin喜界島」の研究発表会があり、「地質学」、「生態学」、「生物学」、「地球環境学」の4班が、それぞれの研究成果を発表しました。



サイエンスキャンプ発表の様子

このキャンプには、各分野の専門家が来島し、子どもたちを指導。透明度の高い海中を、シュノーケリングでサンゴの特徴や大きさを測定したり、高さ70センチ以上の大きなハマサンゴでは、専門家がサンゴの成長過程や特徴などを解説し、子どもたちは、熱心に耳を傾けていたとのことで、各班の真剣な発表に、参加者から拍手が送られました。

また、サンゴ研究のパイオニアである小西健二金沢

大学名誉教授による「喜界島隆起サンゴ礁に学ぶ」と題した記念講演も行われました。

喜界島を構成する石灰岩は、古くは約10万年前から造礁サンゴが絶え間なく生き続けることにより形成された昔のサンゴ礁で、海水準変動と極めて早い隆起速度により、世界でも類いまれなサンゴ礁段丘の景観を今に残しており、喜界島の隆起サンゴ礁には過去から現在の地球環境変動の記録が詳細に閉じ込められているとのことです。

今後、研究が進むにつれ、国内外に広く情報発信されることにより、多くの研究者が喜界島に注目するとともに、島の美しい自然や風土、文化についても同時にアピールされることで、観光振興、地域振興が期待されます。



サンゴ礁科学研究所の外観



ハマサンゴ（池治沖）

平成27年度徳之島管内水土里サークル活動推進大会が開催されました

～入口は水土里サークル 出口は地域づくり～

徳之島事務所農村整備課計画係 技術主査 徳満 宏律

8月3日(月)に、あまみ農業協同組合徳之島事業本部会館において、「平成27年度徳之島管内水土里サークル活動推進大会」が、各活動組織代表者や行政関係者など約100人の出席のもと、盛大に開催されました。

「水土里サークル活動」は、国の[※]多面的機能支払交付金制度を活用して、集落・地域が主体となって農地や農業用施設、農村環境を保全する取組で、徳之島管内においては、31組織3,047ヘクタールで取り組んでおり、各活動組織や行政関係者の理解を深めて活動を円滑に行うことを目的として、今回、初めて推進大会が開催されました。

開会に先立ち、内徳之島事務所農村整備課長から、「多面的機能支払交付金制度は、今年度から法律に基づく制度となったことから、恒久的に継続されることとなった。高齢化も進み厳しい状況であるが、この活動を通じて集落を元気にしてほしい。」とのあいさつがありました。



大会では、県農村振興課、水土里サークル活動支援協議会（県土地改良事業団体連合会）から、各種制度の説明や実績報告書類の作成時における留意点等について説明があり、また、今年度から各活動組織の事業計画は町が認定するようになった、との説明がありました。



続いて、各町活動組織の事例発表が行われ、天城町兼久クリーン隊の叶代表から、「水土里サークル活動で水路・農道などの保安全管理ができるようになり、集落自治会と行政の連携も強固なものとなった。今後は、施設の長寿命化や協定面積の拡大に取り組んでいきたい。」との発表がありました。

その後の質疑応答・意見交換においては、「高齢化が進み、小作も多い状況で活動に参加する人を確保するためには、地域の協力が必要不可欠である。」といった意見や、農道の維持管理についての質疑等があり、大変有意義な推進大会となりました。



※ 多面的機能支払交付金制度とは

農村は、水源の涵養や良好な景観の維持など、農産物の生産以外にも「多面的機能」を持っています。この多面的機能を維持・発揮するために、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の保安全管理を図るものです。

第30回国民文化祭・かごしま2015が開催されます①

大島支庁総務企画課地域振興係 主査 世門 昌美（よかど まさみ）

今年は、国内最大の文化の祭典「国民文化祭」が本県で開催されます。

南北600キロにわたる広大な県土を舞台に、43全ての市町村で100を超えるイベントが計画されていますが、その中から、大島支庁管内で開催される県・市町村事業を2回にわたり紹介したいと思います。

今回は、県主催の事業を紹介します。

開会式・オープニングフェスティバル（奄美サテライト会場）



メイン会場（鹿児島アリーナ）とサテライト会場（奄美市：万人ひろば、西之表市：日杵みなと園）の3会場をライブ中継で結び、一体感をもったステージを披露します。

奄美サテライト会場からは、奄美の生活文化の象徴である八月踊り・六調を、ライブ中継でメイン会場へ発信します。また、奄美大島ならではの飲食・物販ゾーンも設置します。

（開催日）平成27年10月31日（土）

（時間）10時～19時

（場所）奄美市奄美文化センター万人ひろば

シンポジウム 自然遺産と「しま」の生活文化



奄美パークの宮崎緑園長をコーディネーターに迎え、シンポジウムを開催します。

奄美の自然の価値と、その自然と共生してきた島口や島唄などの生活文化を考えるとともに、「奄美・琉球」の世界自然遺産登録に向けた気運の醸成を図ります。

（開催日）平成27年11月13日（金）

（時間）13時開場 13時30分～16時20分

（場所）奄美パーク

（基調講演・コーディネーター） 宮崎 緑 奄美パーク園長・田中一村記念美術館館長
千葉商科大学国際教養学部長

（パネリスト） 小野寺 浩 （公財）屋久島環境文化財団理事長・鹿児島大学客員教授
中山 清美 元奄美市立奄美博物館 館長
木部 暢子 国立国語研究所 副所長
美延 睦美 NPO法人徳之島虹の会事務局長

今回は、大島支庁管内で開催される市町村事業について紹介します。
是非、多くの方々に参加していただきたいと思います。また、職員の皆さんのお手伝いをいただくこともありますので、御協力の程よろしくお願いいたします。

結核予防週間（9月24日～9月30日）について

大島支庁健康企画課疾病対策係 係長 下原 美智子 技術主査 川路 悠子

厚生労働省では、毎年9月24日から9月30日を「結核予防週間」と定めて、結核に対する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。

そもそも…

結核はどんな病気？



1 結核は現代の病気です

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。

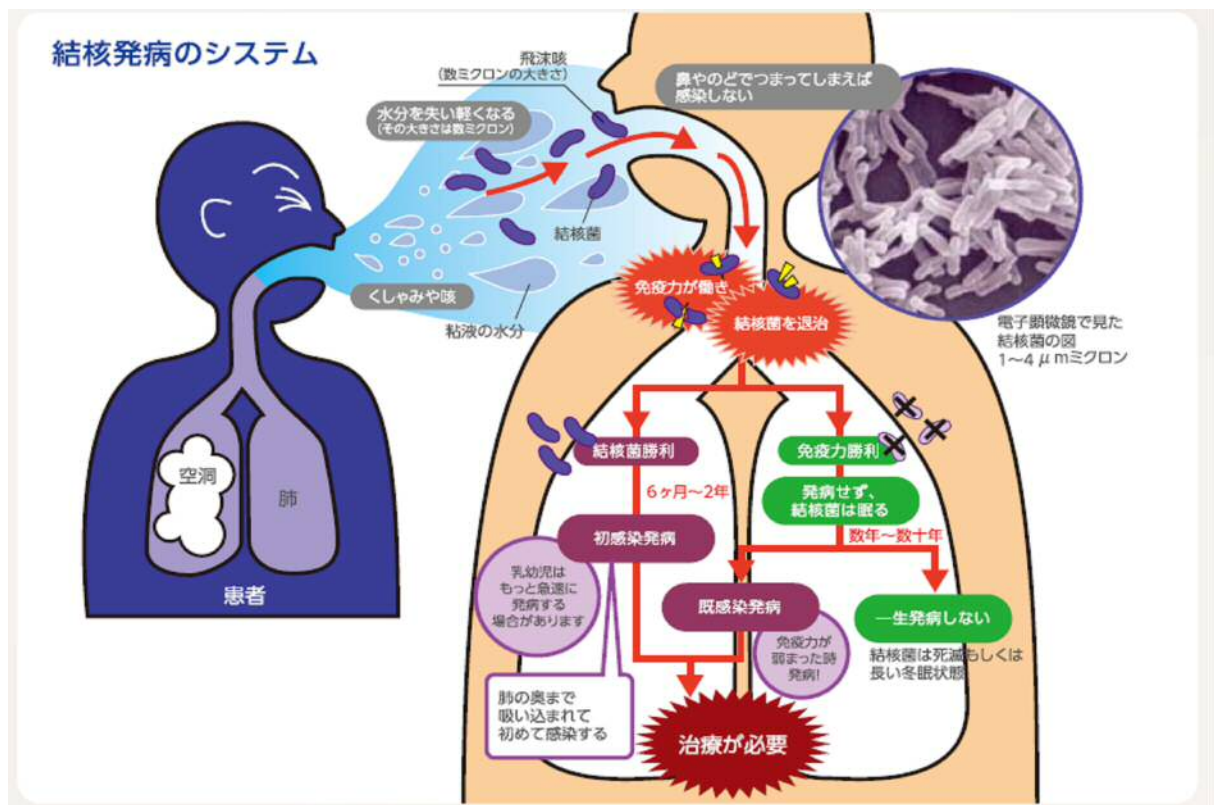
結核菌の混ざったしぶきが、咳やくしゃみで空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで感染します。

結核は、医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と思ったら大間違いです。今でも全国で1日に56人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている重大な感染症です。

名瀬保健所管内では、平成26年は、22人の新しい患者が発生しています。

2 結核に感染しても、すぐに発病するわけではありません

結核に感染しても、健康で体力があれば、通常は免疫力が働き、結核菌の増殖が抑えられます。ところが、栄養状態が悪かったり、不規則な生活やストレスで体力が落ちると、免疫力が弱まり、結核を発病します。また、感染した結核菌は体の中に眠っており、数年から数十年経って加齢と共に体力が衰えてくると、発病することもあります。



3 発病しても、医師の指示通り毎日薬を飲めば治ります

もし、発病したとしても、咳や痰とともに結核菌が空気中に吐き出されていない場合は、他の人に感染させる心配はありませんので、通院で服薬治療ができます。

なお、結核菌が空気中に吐き出されて、人に感染させる恐れがある場合は、入院治療が必要となります。

通院での服薬治療中や、人に感染させる恐れがなくなり、退院した後でも、症状が治まったからといって、治療の途中で薬をやめてしまうと結核菌は抵抗力をつけ、薬が全く効かない結核菌になることがありますので、医師の指示に従い服薬を続けてください。

4 定期健診、早めの受診が社会のマナーです

自分自身の健康を守ることはもちろんのこと、家族や友人などへの感染を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。定期健診をきちんと受け、風邪かなと思うような症状（咳が2週間以上続く、痰が出る、痰に血が混ざる、体がだるい、微熱が続く）が長く続くようなら、必ず受診してください。

特に、お年寄りや身体のだるさが続いたり、急に体重が減ったりしてきたら、結核かもしれません。心当たりのある時は、早めに受診しましょう。

5 結核を予防するには

結核の予防には、普段から健康的な生活を心がけ、免疫力を高めておくことが重要です。夜更かしなどの不規則な生活や喫煙は厳禁です。また、抵抗力の弱い赤ちゃんは、

結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることもあります。小児の結核予防には、BCG接種が有効です（ただし、効果は10～15年）。市町村からの案内に従って、なるべく3～8ヶ月以内に、遅くとも生後1年以内に接種しましょう。

名瀬保健所管内の状況 新規登録者年齢階級別の推移（過去4年間）

単位（人／％）

| | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 | 平成26年 | 年齢別計 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 0～19歳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0人 |
| 20～29歳 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0人 |
| 30～39歳 | 2 | 2 | 2 | 1 | 7人 |
| 40～49歳 | 4 | 5 | 5 | 2 | 16人 |
| 50～59歳 | 4 | 4 | 3 | 3 | 14人 |
| 60～69歳 | 2 | 4 | 2 | 2 | 10人 |
| 70～79歳 | 3 | 2 | 1 | 3 | 9人 |
| 80歳以上 | 3 | 12 | 8 | 11 | 34人 |
| 年計 | 18 | 29 | 21 | 22 | 90人 |
| 30歳～59歳の割合 | 55.56% | 37.93% | 47.62% | 27.27% | 41.11% |
| 70歳以上の割合 | 33.33% | 48.28% | 42.86% | 63.64% | 47.78% |

平成27年度に採用された新規採用職員を紹介します

大島支庁瀬戸内事務所総務課用地管理係 主事 山之上 隆広（やまのうえ たかひろ）

今年度から、大島支庁瀬戸内事務所総務課に、新規採用職員として配属されました山之上隆広と申します。生まれも育ちも鹿児島県で、小学4年生までは名瀬市浦上（現奄美市名瀬浦上町）に住んでいました。鹿児島県の職員として働くことが決まった時に、幼い頃に過ごした自然、地域の方々とともに働きたいと思い、希望を出し、奄美大島にやってきました。

スポーツをすることが好きで、瀬戸内事務所のフットサルチームにも参加させていただいております。奄美大島の自然、人の温かさを感じ、地域の行事にも積極的に参加し、精一杯働きたいと考えております。



大島支庁喜界事務所福祉係 主事 又木 政孝（またき まさたか）

本年度から、新規採用職員として大島支庁喜界事務所福祉係に配属されました又木政孝と申します。

出身は志布志市志布志町志布志になります。大学卒業後は、民間企業に勤めておりました。初任地が喜界島に決まり、どのようなところだろうとインターネットで検索し、期待と不安で胸を膨らませながら喜界島へ赴任いたしました。天候不良で、奄美大島着陸というハプニング（離島の洗礼？）はありましたが、豊かな自然と綺麗な海、地域住民の温かさに囲まれながら喜界島を満喫しております。

日々の業務では、生活保護関係の業務を担当しています。赴任して5ヶ月になりますが、慣れないことも多く、覚えることに必死な日々を送っています。早く業務をこなせるようになり、職場の方や地域の方と協力し、一人でも多くの方々の、生活保護からの脱却や自



立に尽力していけたらと思っております。

また、仕事ばかりではなく、喜界島の伝統・地域行事などにも積極的に参加し、地域住民の方との信頼関係を深めながら、更に喜界島の魅力を感じていけたらと思います。

喜界島での経験が今後の人生の礎となるように、一生懸命仕事にも私生活にも取り組んでいきますので、どうぞよろしく願いいたします。



8月の統計情報

1 鹿児島県毎月推計人口

平成27年8月現在の奄美群島の人口は111,421人で、前年同月と比べて1,341人減少しています。

| | 県全体 | 奄美群島 | | | | | |
|-----------|-----------|---------|--------|-------|--------|--------|-------|
| | | 奄美大島 | 喜界島 | 徳之島 | 沖永良部島 | 与論島 | |
| 8月1日現在(人) | 1,658,210 | 111,421 | 61,798 | 7,304 | 24,010 | 13,097 | 5,212 |
| 前年同月(人) | 1,669,472 | 112,762 | 62,570 | 7,421 | 24,293 | 13,238 | 5,240 |
| 増減数(人) | -11,262 | -1,341 | -772 | -117 | -283 | -141 | -28 |
| 前年同月比(%) | -0.7 | -1.2 | -1.2 | -1.6 | -1.2 | -1.1 | -0.5 |

2 鹿児島県観光動向調査

平成27年7月における調査対象ホテル・旅館82施設の宿泊客数（宿泊延べ人員）は合計246,493人で、前年同月比1.3%の減少となっています。

奄美地区は、23,882人で前年同月3.2%の増加となっています。

(単位:人,%)

| | 平成27年7月 | 前年同月 | 前年同月比 |
|------|---------|---------|-------|
| 県全体 | 246,493 | 249,680 | -1.3 |
| 奄美地区 | 23,882 | 23,134 | +3.2 |

3 大島紬

平成27年7月の生産反数は360反で、前年同月の生産反数319反と比較して、12.9%の増加となっています。

| | 反数 | 男物女物別 | | 染 別 | | | | | | 生産金額 (千円) | 累 計 | |
|-----|-----|-------|-----|-----|-----|----|-----------|-----|-----------|--------------|-------|--------------|
| | | 男物 | 女物 | 泥染 | 泥藍染 | 藍染 | 化学 染料染 | 草木染 | 複数 染料染 | | 反数 | 生産金額 (千円) |
| 経緯緋 | 330 | 23 | 307 | 179 | 8 | | 117 | 26 | | 28,947 | 3,081 | 268,372 |
| 緯緋 | 30 | 2 | 28 | 1 | | | 27 | 2 | | 1,164 | 261 | 10,086 |
| 計 | 360 | 25 | 335 | 180 | 8 | | 144 | 28 | | 30,111 | 3,342 | 278,458 |

9月～10月上旬の主な行事予定表

| 日 | 担当課 | 行事内容 | 場所 |
|--------|--------|----------------|-------------|
| 9月16日 | 建設課 | 土砂災害出前講座 | 小湊小学校 |
| 9月25日 | 衛生・環境室 | 動物愛護週間街頭キャンペーン | 奄美市名瀬, 徳之島町 |
| 10月7日 | 総務企画課 | 奄美大島南部の観光を語ろう会 | 瀬戸内町内 |
| 10月14日 | 総務企画課 | 本場大島紬研修会・販売会 | 支庁4階大会議室 |

《 発 行 》

大島支庁総務企画部総務企画課

TEL: 0997-57-7212

E-mail: oosima-soumu@pref.kagoshima.lg.jp

